ALBIT®

B-220
B-320

NEW PROFESSIONAL BASS AMPLIFIER

取扱説明書

この度は、アルビット製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございました。
ご使用になる前に、この取扱い説明書をよくお読みになって特性や性能を最大限に発揮させ正しくご使用下さい。

なお、この「取扱説明書」は「保証書」とともに大切に保管して下さい。

ALBIT CORPORATION

≪ 特 長 ≫

1. 3モードインプット（アクティブ・パッシブ・ワイヤレスｅｔｃ、機々用）の採用。
2. 新開発±１５ｄＢ可変可能な、ゲインコントロール及びヘッドルームクリップ表示のＬＥＤとの併用で、ベストな状態にゲインをセット出来ます。
3. 新開発4バンドアクティブ型トーンコントロールでサウンドに更に磨きが、かかりました。
4. オリジナルレベルインジケーターの採用。
5. 従来のプレゼンスコントロールの幅を更に広げるハイミッドレンジスイッチの採用で、チョッパーサウンドからフレットレスサウンド迄、全てのジャンルに適したプレゼンス特性が得られます。
6. マスターボリュームの採用で、ＰＡ送り等のすべてのセッティングを変える事なく、モニターとしてのステージ上のエンクロージャーの音量を自由にコントロール出来ます。
7. 電源スイッチＯＮ／ＯＦＦ時の不快なノイズを完全に無くしました。

≪ 各部の機能（フロントパネル） ≫

ＩＮＰＵＴＳ ： ＰＡＳＳＩＶＥにはパッシブタイプのベースを、ＡＣＴＩＶＥにはアクティブタイプのベースを接続して下さい。

Ｇ Ａ Ｉ Ｎ ： ツマミをセンター（ＮＯＲＭ．）の位置が標準のＧＡＩＮで出力の低いパッシブタイプのベースの場合、センターより右に回し、ＧＡＩＮを上げて下さい。又、出力の大きいアクティブタイプのベースの場合、センターより左に回しＧＡＩＮを下げて下さい。
この調整方法は、ＨＥＡＤ－ＲＯＯＭ ＣＬＩＰのＬＥＤが点燈する直前にセットして下さい。又、ブリブリした音質にする時はＧＡＩＮを上げＨＥＡＤ－ＲＯＯＭ ＣＬＩＰのＬＥＤが点燈する所まで、ＧＡＩＮを上げて下さい。まれに、パッシブタイプのベースの場合、楽器の出力が低い為に、このＣＬＩＰのＬＥＤが点燈しにくい場合もあります。

ＶＯＬＵＭＥ ： 音量を調整するツマミです。

ＴＲＥＢＬＥ ： 高音域を調整します。センターがノーマルで右でブースト、左でカットになります。

ＨＩ．ＭＩＤ ： 中高音域を調整します。センターがノーマルで右でブースト、左でカットになります。

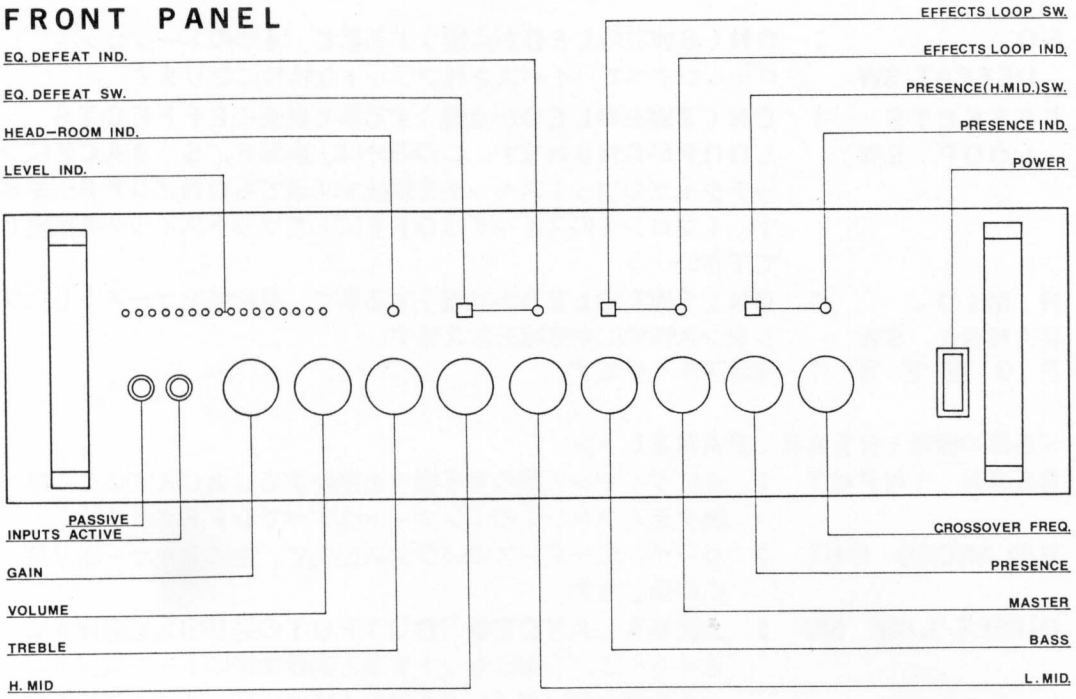
ＬＯＷＭＩＤ ： 中低音域を調整します。センターがノーマルで右でブースト、左でカットになります。

Ｂ Ａ Ｓ Ｓ ： 低音から重低音域を調整します。センターがノーマルで右でブースト、左でカットになります。

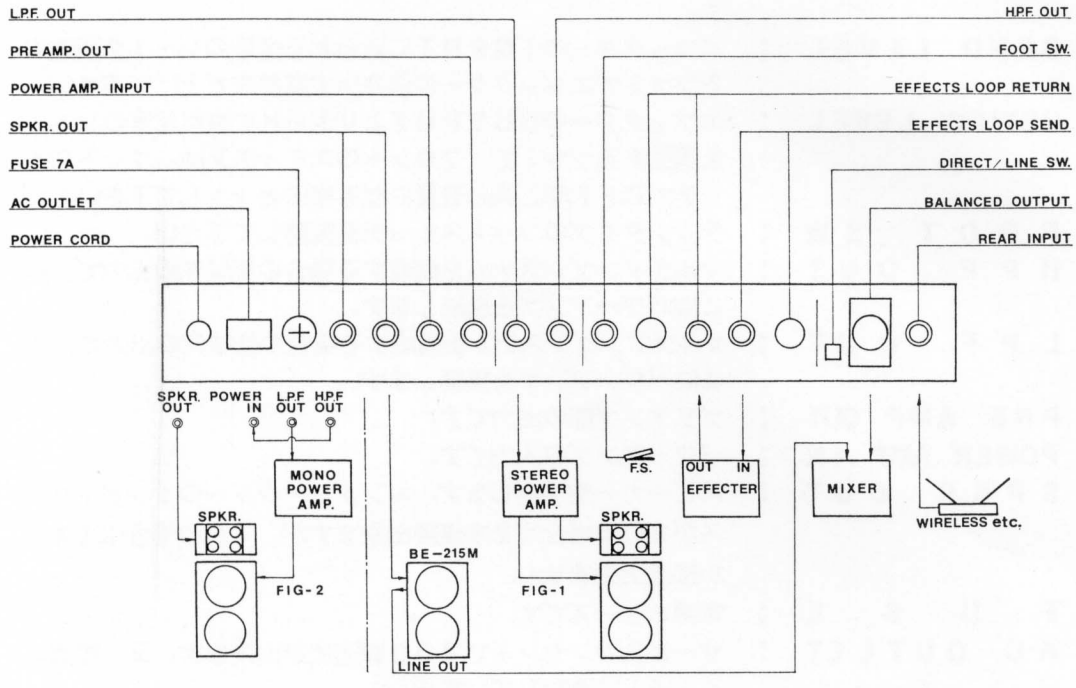
ＰＲＥＳＥＮＣＥ ： ＯＦＦ の位置から少し右に回すとスイッチが入り、中高音域のレベルをブーストします。

ＣＲＯＳＳＯＶＥＲ ： チャンネルデバイダーのクロスオーバー（ＨｉとＬＯＷの交差する周波数）を変えるツマミで、３００Ｈｚ から３ＫＨｚ 迄可変出来ます。裏面のＨＰＦ ＬＰＦに連動しています。

FRONT PANEL



REAR PANEL



EQ. DEFEAT SW ： ON（SW右のLEDが点燈）する事で、4つのトーンコントロールがすべてバイパスされフラットな特性になります。

EFFECTS LOOP SW ： ON（SW右のLEDが点燈）する事で裏面のEFFECTS LOOPがONされます。この部分は、裏面F／S JACKにラッチタイプのフットスイッチを接続する事でもON／OFF出来ます。（フロントのスイッチはOFFにしてフットスイッチを接続して下さい。）

H.MID. RANGE SW ： ON（SW右のLEDが点燈）する事で、高音域をブーストしたプレゼンス特性に中高域を加えます。

POWER ： 電源スイッチです。

≪各部の機能（REAR.PANEL）≫

REAR INPUT ： 主にワイヤレス等の電子機々を接続するJACKでここに接続するとフロントのインプットはすべてOFFされます。

BALANCED OUT ： ローインピーダンスのバランス出力で、主にミキサー送り等に使用します。

DIRECT／LINE SW ： 上記BALANCED OUTPUTの送り出しを選択するスイッチで、下側にセットすると楽器本来のトーンコントロールを通らないダイレクトアウトです。又、スイッチを上側にセットするとトーンコントロールEFFECT LOOP等、通過後のPRE.AMP.出力のラインレベルになります。

SEND LEVEL ： エフェクターのINPUTに送られる信号のレベルを調整するツマミでエフェクターの歪み出す直前まで上げて下さい。

RETURN LEVEL ： エフェクターのOUTPUTより送られて来た信号のレベルを調整するツマミで、フロントのスイッチ又は、フットスイッチでOFF時と同じ音量になる様にセットして下さい。

FOOT SW ： ラッチタイプのフットスイッチを接続して下さい。

HPF OUT ： マルチアンプシステムを構成する場合の高域側の出力で、ここにパワーアンプを接続します。

LPF OUT ： マルチアンプシステムを構成する場合の低域側の出力で、ここにパワーアンプを接続します。

PRE AMP OUT ： プリアンプ部の出力です。

POWER.AMP.IN ： パワーアンプの入力です。

SPKR.OUT ： スピーカーを接続します。エンクロージャーのインピーダンスが8Ωの場合は2本接続出来ますが、4Ωの場合は1本しか接続出来ません。

FUSE ： 電源ヒューズです。

AC OUTLET ： サービスコンセントで300W迄使用出来ます。又、電源スイッチとは連動していません。

≪ マルチアンプシステムを構成する場合 ≫

図**FIG－1**の様にステレオのパワーアンプを使用する場合は、図の様に接続して下さい。又、**FIG－2**の様に本体のパワーアンプ部と、モノラルのパワーアンプを使用する場合は、本体の**HPF　OUT**より**POWER　AMP．INPUT**を接続し、本体の**SPKR・OUT**には高音域のエンクロージャーを接続して下さい。

LPF　OUTより大出力のパワーアンプを接続し、低音域用のエンクロージャーを接続し大出力のマルチアンプシステムを構成する事も出来ます。

≪ 御　注　意 ≫

1. 使用中電源コードは放熱の防げになる為、コード巻き部分から全部外して使用して下さい。
2. **BASS**を必要以上に上げての使用は、スピーカーの劣化原因になりますので十分注意して下さい。
3. 真夏の直射日光のあたる場所や、湿気の多い場所での使用は音質劣化や内部の部品に悪い影響を与えますので、十分注意して下さい。

≪ 保証とサービス ≫

この商品は保証書付きです。

保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますから、記載内容をご確認いただき、大切に保存して下さい。

保証期間は、お買い上げの日から**1**年間です。

なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読み下さい。

保証期間経過後の修理については、販売店にご相談下さい。

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

≪ 仕　様 ≫

（コントロール類）

インプット×**3**
16ポイントレベルインジケーター×**1**
ゲインコントロール×**1**
ヘッドルームクリップ**LED**×**1**
ボリューム×**1**
トーンコントロール×**4**
EQ．ディフィートスイッチ×**1**
マスターボリューム×**1**
エフェクトループスイッチ×**1**
エフェクトループ**LED**×**1**
プレゼンスコントロール×**1**
プレゼンスハイミドルレンジスイッチ×**1**
プレゼンスハイミドル**LED**×**1**
クロスオーバーコントロール×**1**
バランスアウト×**1**
ダイレクト。ライン切換スイッチ×**1**
エフェクトループセンドボリューム
エフェクトループリターンボリューム
エフェクトループフットスイッチジャック×**1**
チャンネルデバイダー用**HPF　OUT**×**1**
チャンネルデバイダー用**LPF　OUT**×**1**
プリアンプアウト×**1**
パワーアンプインプット×**1**

≪ 仕　様 ≫

	（B－220）	（B－320）
実効出力	220W／4Ω	320W／4Ω
最大出力	440W／4Ω	640W／4Ω
消費電力	118W	136W
重　量	20Kg	23Kg

寸　法　550（W）×192（H）×392（D）㎜

※ 規格及び外観は改良の為、予告なく変更する事があります。

ALBIT CORPORATION
〒340 埼玉県草加市西町1382－3 PHONE（0489）28－1637